

# 令和7年度 学校経営方針



星と稲の訓は、勤労と奉仕、愛郷心・愛校心が謳われた昔からの校訓です。長い年月を経、「星」には高い理想や願い、目標が、「稲」には努力の成果や豊かな実りという意味が付加され、今日まで引き継がれています。この校訓は伊米ヶ崎の宝であり、これからも伝えていかなければなりません。

【教育目標】 自ら考える子 心豊かな子 たくましい子  
【重点目標】 個性を認め合い、共に高め合う子の育成

【経営の基本方針】

## ○当たり前のことを当たり前にできる子どもの育成と個性を生かした教育の推進

協同思考、協働による深い学び、豊かな生活の創造

## ○「北風」と「太陽」のバランスのよい学級づくり

笑顔があふれ、誰もが居心地の良い学級、相互に高め合う刺激のある学級経営

## ○学び続ける教師集団（Team 伊米ヶ崎）が子ども、学級を育てる

子どもにとって教師は重要なロールモデル。Team 伊米ヶ崎で子どもの育成を図る。

## ○保護者・地域との連携・融合

「CS伊米ヶ崎小」として、保護者・地域との有機的な連携を重視する。

## 【留意事項】

### 1 子どもも職員も、笑顔を大切にする

- 一人一人に居場所があり、互いの良さを認め合う支持的な学級をつくる。
- 「分かった」「できた」という喜びや追求することの楽しさを味わわせる授業をつくる。
- 職員の輪やコミュニケーションを大切にし、職員同士が気持ちよく仕事ができるように、互いの成果について声を出して認め合い、課題を共有して解決の方策を探っていく。

### 2 子どもたち一人一人の成長を大切にする

- 一人一人の悩みやつまずきに寄り添うとともに、良さを見付け、指導・支援を行う。
- 興味・関心に応じた活動や学習課題に取り組みせ、一人一人が自分自身の成長を感じられるよう「めあて」と「振り返り」を重視し、やり遂げる喜びを味わわせるとともに、さらなる高見へと意識が向かうよう支援する。

### 3「知・徳・体」の調和を大切に、「生きる力」を育む

- 変化の激しいこれからの社会を生きるために、「知・徳・体」をバランス良く育てる。

### 4 教師としての力量を高める

- 教職に誇りと楽しみを持ち、互いに刺激し合いながら授業力、指導力を高める。
- ICTを積極的に活用するなど、教師自らが探求的実践に取り組み、子どもの実践力、探求力を高める。
- 「Team 伊米ヶ崎」で業務に取り組む。管理職や教務からの指示、各分掌の計画等は、共通理解を図った上で確実に実行する。また、年長者は進んで指導・支援し、全教職員は失敗を気にせず、進んで課題に向き合うことで、個々の成長と共に職員集団の力量アップを図る。

### 5 保護者や地域との連携を大切にする

- 地域の宝物である子どもたちを、協力して磨き育てる。
- 「地域に学ぶ」という姿勢を大切にしながら、地域素材を積極的に教材化し、教育活動に取り入れる。
- 地域の声や教育力を生かしながら郷土愛と愛校心を育む。

### 6 安全・安心を優先する

- 命に関わることを最優先し、いじめや不登校にはチームで迅速に対応する。
- アンテナを高くし、報告、連絡、相談、確認を心がける。「一人で抱え込まない」

### 7 働き方改革の実行と教育公務員としての自覚

- 業務の適正化、明確化、重点化等を図りながら教職の魅力を持し、子どもたちが学ぶ楽しさ、分かる喜びを感じる効果的な教育活動を行う。
- 非違行為の根絶（体罰、わいせつ、セクハラ・交通事故・スピード超過、個人情報漏洩等）
- 服装、履物、あいさつ、言葉遣いなど、教育公務員としての自覚をもって行動する。